

QIT26 プログラム

平成24年5月21日（月）

開始時刻	タイトル	講演者	所属
9:55- 10:00	[開会の挨拶, 連絡事項]		
10:00- 11:20	Session I 量子計算・量子アルゴリズム・量子シミュレーション・その他	座長 森越 文明	NTT
	量子遺伝的操作の改良	齋藤 暁[a]・ラヒミ ロバベ[b], 中原幹夫[c]	a:近畿大, 現 NII, b:ワータールロー大, c:近畿大
	Dynamical Decoupling および量子 Zeno効果を用いたユニタリーゲートのコントロール化の普遍の実装	仲山将順[a], 添田彬仁[b], 村尾美緒[a]	a:東大, b:NUS
	Quantum algorithm for simulating the dissipative dynamics and obtaining the energy spectrum of a physical system	Sahel Ashhab, Hefeng Wang, Franco Nori	RIKEN
	N次元ベクトル空間上のSp(2,Z)共変Wigner 関数	堀邊 稔, 橋本貴明, 林明久	福井大
11:40- 12:20	Session II	座長 西村 治道	名大
	New models for non-local games <招待講演>	Andris Ambainis	Univ. Latvia
12:20- 13:20	昼食		
13:20- 15:00	ポスター		
15:20- 16:00	Session III	座長 井桁 和浩	NTT
	トポジカルフォールトトレラント量子計算 <チュートリアル講演>	藤井 啓祐	阪大
16:20- 18:00	Session IV 量子情報	座長 鶴丸 豊広	三菱電機株式会社
	Optimal entanglement manipulation via coherent-state transmission	Go Kato, Koji Azuma	NTT
	エンタングルメント抽出の非可逆性	熊谷 亘[a], 林 正人[b]	a:東北大 b:名大/シンガポール国立大
	弱測定統計を用いた量子テレポーテーションの解析	廣石 雅紀, ホフマン ホルガ	広大
	位相ランダム状態アンサンブルとその近似的生成法	中田芳史, ピーター S. ターナー, 村尾美緒	東大
	マクロな観測量で量子論の非実在性を示せるか	クルジンズキ パウエル[a], ○添田彬仁[a], ラマナサン ラビシャンカ[a], グルカ アンドレ[b], トンプソン ジェイン[c], カスリコウスキ ダゴミール[a]	a:NUS b:Adam Mickiewicz University, c:The University of Melbourne
18:20- 20:20	懇親会		

QIT26 プログラム

平成24年5月22日(火)

開始時刻	タイトル	講演者	所属
9:20- 10:20	Session V 量子制御・その他	座長 竹内 繁樹	北大
	微分方程式の整数型解法の量子光学への応用	足木宏章, ○坂口文則	福井大
	動的デカップリングパルスの自動生成法	田淵 豊, 北川勝浩	阪大
	複合量子ゲートのゲート操作数を軽減する方法	坂東将光[a], 市川 翼[b], 近藤 康[a], 中原幹夫[a]	a:近畿大, b:学習院大
10:40- 11:40	Session VI 量子暗号・量子通信・量子計算・量子アルゴリズム・量子シミュレーション	座長 山本 俊	阪大
	測定装置無依存量子鍵配送プロトコルの基底情報漏れを伴う位相エンコーディングスキーム	玉木 潔[a], Hoi-Kwong Lo[b], Chi-Hang Fred Fung[c], Bing Qi[b]	a:NTT, b:トロント大, c:香港大
	Precise evaluation of leaked information with universal2 privacy amplification in the presence of quantum attacker	林 正人	名大
	Entanglement generation in the weak-coupling regime of cavity QED	越野和樹[a]松崎雄一郎[b]	a:東京医科歯科大, b:NTT
11:40- 13:30	昼 食		
13:30- 14:30	Session VII	座長 北川 勝浩	阪大
	ハイゼンベルクの不確定性原理 <チュートリアル講演・一般公開>	小澤 正直	名大
14:50- 16:10	Session VIII 量子測定・量子計測・量子推定	座長 林 正人	名大
	Measurement uncertainties in the quantum formalism -- quasi-realities of individual systems --	Holger F. Hofmann	Hiroshima Univ.
	純粋度測定の最小構成モデルと量子系の次元	○田中 亨[a], 木村 元[b], 中里弘道[a]	a:早大 b:芝浦工大
	Systematic approaches for implementation of general measurements in linear optical and solid-state qubits	Yukihiro Ota, Sahel Ashhab, Franco Nori	RIKEN
	量子誤り訂正符号を用いたMean King問題の解法	吉田雅一[a], 宮寺隆之[b] 木村 元[c], 今井秀樹[a]	a:中大, b:京大, c:芝浦工大
16:10- 16:15	閉会の挨拶		

5/21
13:20- 15:00

ポスター（13F 多目的会議室）

1	Superactivation of Zero-Capacity Quantum Channels is Limited by the Quantum Relative Entropy Function	Laszlo Gyongyosi, Sandor Imre	Budapest Univ. of Technology and Economics
2	同種粒子性を利用する量子計測と識別不可能性	○松岡耕司・湯浅一哉	早大
3	エラーマージンのある識別問題 ～ 三つの対称な混合状態の場合 ～	○杉本宏行・谷中裕太・林 明久	福井大
4	局所操作によるスピンネットワーク純粋化の限界	○加藤 譲・山本直樹	慶大
5	Multi-party clock synchronization with GHZ states	Changliang Ren, Holger F. Hofmann	Hiroshima Univ.
6	ランダム結合ネットワークにおけるスピン増幅	○根来 誠・立石健一郎・香川晃徳・北川勝浩	阪大
7	マッハ・ツェンダー干渉計を用いて2量子ビット間に任意の初期状態から確率1でエンタングルメントを生成する方法	○稲葉弘一・湯浅一哉	早大
8	適応ゼノ測定による量子2準位系の状態生成	○田中 咲・山本直樹	慶大
9	四台の光子検出器によるマルチペア偏光量子もつれ状態評価	○吉澤明男・福田大治・土田英実	産総研
10	カスケードSHG/SPDC方式による偏光量子もつれ光の光ファイバ伝送実験	○荒平 慎・村井 仁	OKI
11	The Pilot Quantum Error-Correction Protocol	Laszlo Gyongyosi, Sandor Imre	Budapest Univ. of Technology and Economics
12	補助キュービット駆動型万能ブラインド量子計算	○末木貴洋[a]・小柴健史[a]・森前智行[b]	a:埼玉大, b:インペリアル大
13	経路もつれ合いの付与による伝令付き光量子ゲート	○岡本 亮, 竹内 繁樹	北大
14	格子上のFano作用素のSymplectic共変性	○芦田浩幸・橋本貴明・堀邊 稔・林 明久	福井大
15	微分方程式の整数型解法の量子力学への応用 ～ 周期ポテンシャルの場合 ～	・加藤万佐朗[a] ○坂口文則[b]	a:福井市役所 b:福井大